



ふくろう先生に
聞いてみよう！

私のバードピア

日本鳥類保護連盟会員 久米 有子

冬の季節、私がバードピアとして庭に餌台を出すようになって10年ぐらい経ちました。住宅地の中の限られた場所なのですが、訪れる鳥たちのこと、庭で見られた出来事のことをご紹介したいと思います。

パン粉や果物を出してある餌台を訪れる常連は、ヒヨドリです。最初の頃は、ヒヨドリは何回も来るのだなあと思っていましたが、何年か観察するうちに何羽かが入れ替わりやっ来てきているようだとわかりました。今年は1号、2号、3号、もしかするともう何羽か来ていたのかもしれませんが。1号と2号は2羽一緒に来るのですが、1号の方が態度が大きくて、2号が先に食べようとするので追いついて自分が先に食べようとします。3号は1号2号がいないときにやっ来て、常に周りを見回して、びくびくしながら食べています。

また、スズメが減っていると聞いたので、スズメの越冬を助けたいと思い、フードフィーダーに小鳥の餌を入れてぶら下げています。スズメたちは、5,6羽から10羽ぐらいのグループであちからこちから屋根を越えてやっ来て、「ちゅんちゅん、ちゅんちゅん」と賑やかです。多いときで50羽以上の集団になります。フードフィーダーに止まってついでにむもの、こぼれて落ちた餌を地面で食べるもの。満腹になると木の枝やテレビアンテナに止まってひと休み。くちばしをぬぐって羽繕いなどしてから再びグループで飛び去ります。



数年前の雪の日、にぎやかにスズメが食事をしてるところへ「ふあさつ」と舞い降りた鳥がいました。チョウゲンボウでした。スズメたちは一斉にワッと逃げ去りましたが、チョウゲンボウは一瞬にして1羽のスズメを捕らえて持ち去りました。しばしの静寂の後、スズメたちはまた元の場所に戻り、何事もなかったかのように賑やかにさえずりながら食事を再開しました。狩りの現場を目の当たりにしたショックと、生き残ったスズメたちの生きる力のたくましさを感じました。食物連鎖の「食う食われる関係」がここにもありました。

他にはメジロ、キジバト、シジュウカラ、ジョウビタキ、ツグミ、シロハラ、ムクドリ、オナガ、ハシボソガラスなども訪れてくれます。その他の鳥も来ているのかもしれませんが。餌台を設置したことで観察の回数が増え、たくさんの来訪者に気づくことができました。次にどんな鳥が訪れてくれるのか楽しみです。

皆さんも簡単な餌台を作って小鳥の観察を試してみませんか。とても楽しいですよ。

「春の七草頒布会」

平成 28 年 1 月 4 日～ 7 日

ねいの里恒例の「春の七草頒布会」を行いました。雪が少なかったので採取は比較的楽でしたが、水で洗うのはやっぱり冷たいですね。ところで、春の七草を覚えていますか？時々、摘んだ七草を「確認してください」と言ってこられますが、間違っている方もおられます。今までにあった間違いは、ホトケノザ（コニタビラコ）とオニタビラコ、ハコベとオランダミミナグサ、ナズナとイヌガラシなどです。ねいの里でも七草粥を作っておいしくいただきました。



(春の七草：セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ)

「カンジキハイク」

平成 28 年 1 月 31 日 (日)



今年も雪が少なくカンジキハイクは長靴ハイクになってしまいました。話題になったのは、ねいの里にあるイヌツゲは、イヌツゲかハイイヌツゲか？ ユズリハは、ユズリハかエゾユズリハか？ ワイワイガヤガヤの後の結論は「ねいの里にあるのはイヌツゲとユズリハでいいのではないかな。ハイイヌツゲとエゾユズリハ



があるかどうかは、今後の宿題。」ということに落ち着きました。はたしてあるのでしょうか？ハイクの後には炭焼き小屋の囲炉裏を囲んで暖を取りながら、恒例になった？パン焼きをしました。

「冬の生き物観察と動物の体を調べる」

平成 28 年 2 月 13 日 (日)

イノシシを解体しながら筋肉の付き方や骨格の構造を観察し、動物の体のつくりを学んでいます。



こちらでは骨格標本作りの体験をしました。煮込んで柔らかくした鶏の手羽先をほぐして骨を取り出しています。



うわア
ちょっと
怖いかも

今晚のおかず
にしたらおいしそ
うだわ！

おれも
やってみたいなー

どこにあるんだあ？

こんな標本ができました



「ねいの里の春見つけ」

平成 28 年 3 月 20 日 (日)



みんなで春の息吹を見つけに出かけました。満開のキンキマメザクラに感激したり、ショウジョウバカマや咲き始めたばかりのシュンランを見つけて喜んだり。見つけた春（花や新芽、鳥、生き物など）をビンゴゲームのカードに書き込んでいきます。水辺の生態園ではたくさんのオタマジャクシに驚いたり、メダカの学校に微笑んだり。皆さん思い思いの春を見つけていました。



アッ、メダカの学校！



ビンゴ！ビンゴ！

最後に見つけた春のビンゴゲームをして、見事ビンゴした人には豪華景品？が配られました。



平成 28年度 「ねいの里」年間活動予定

(:ねいの里主催, :共催, :自然塾の会主催)

日時	定例会行事内容	担当部署	担当者
4月23日(土) 9:30~13:00 13:00~15:00	春の森でチャレンジ (定員:30人) 新緑の森を歩き、春を感じられる動植物を観察する。 その後、昼食を兼ねて、山菜や野草を使つての野外クッキングを楽しむ。 午後から希望者でロープの使い方を学ぶ。	ねいの里	ねいの里
5月1日(日) 9:00~14:00	新緑の里山ハイキング 新緑の里山を観察しながらハイキングをする。	自然塾の会	石澤、藤堂
5月15日(日) 8:00~12:00	愛鳥週間「バードウォッチング」 野鳥の園(古洞ダム周辺)でバードウォッチングを楽しむ。	野鳥の園 自然保護課 日鳥連	ねいの里
5月13日(金) 10:00~12:00	愛鳥週間「ヒナを拾わないDAY」 鳥獣保護センターでの給餌活動体験をしてもらう。 巣箱観察、放鳥イベントを行う。	ねいの里 自然保護課	ねいの里
5月22日(日) 9:30~12:00	ねいの里生き物調査「春の花の観察」 (定員:20人)	ねいの里 (ジュニア支援)	ねいの里
6月5日(日) 8:30~15:00	縄ヶ池の自然観察 城端 縄ヶ池周辺の自然観察をしながら散策する。	自然塾の会	吉井、長谷川
6月18日(土) 17:00~21:00	竹細工づくりとヘイケボタル観賞(1回目) ゲンジボタルとはちよつと違う輝きを見せるヘイケボタルを観賞する。	ねいの里	ねいの里
6月25日(土) 17:00~21:00	竹細工づくりとヘイケボタル観賞(2回目) ゲンジボタルとはちよつと違う輝きを見せるヘイケボタルを観賞する。	ねいの里	ねいの里
7月 2日(土) 17:00~21:00	竹細工づくりとヘイケボタル観賞(3回目) ゲンジボタルとはちよつと違う輝きを見せるヘイケボタルを観賞する。	ねいの里	ねいの里
7月27日(木) 7月28日(金) 9:30~15:30	夏休み自由研究支援教室 (定員:どちらか1日に参加、1日当たり5人) 自由研究の相談を受け、手法の指導を行う。	ねいの里	ねいの里
8月 7日(日) 9:30~12:00	ねいの里生き物調査「トンボの観察と標本作り」 (定員:20人)	ねいの里 (ジュニア支援)	ねいの里
8月20日(土) 17:00~20:00	夜の昆虫大探検 夕方:竹や木の実で昆虫工作をする。 夜間:夜の鳴く虫や、ライトトラップに集まる虫を観察する。	ねいの里	ねいの里
9月 4日(日) 8:00~17:00	有峰の自然を探る(アサギマダラ調査) (定員:20人)	ねいの里 (ジュニア支援)	ねいの里
10月 2日(日) 10:00~12:00	キノコ狩りとキノコ鍋を楽しむ キノコ鍋の試食あり(定員:300人) 園内でキノコ狩りをし、講師によるキノコの鑑定を行う。	共催	ねいの里 (きのこ鍋)
10月30日(日) 9:30~12:00	ねいの里生き物調査「木の実とキノコの観察」 (定員:20人)	ねいの里 (ジュニア支援)	ねいの里
11月 6日(日) 10:00~12:00	木の実観察とクサギ染め (定員:20人) 秋の木の実観察と、クサギの実で草木染を体験する。	ねいの里	ねいの里
11月20日(日) 9:00~15:00	蔓植物の観察会(クリスマスリース用輪っか作り) 蔓植物の観察をしながら蔓を採取し、リース用輪っかを作る。	自然塾の会	松崎、石澤、中林
12月 4日(日) 9:30~12:00	クリスマスリース作り (定員:30組) 持ち寄つた材料でクリスマスリースを作る。	自然塾の会	平野(康美)、吉井
12月18日(日) 9:30~12:00	正月飾りと干支作り (定員:20組) ねいの里で収穫・採取した植物で、正月飾り・干支を作る。	共催	ねいの里
1月4日~6日 9:00~17:00 4日は13:00~	春の七草頒布 (200セット、一人2セットまで) 希望者は冬の野鳥観察や、伝統的な正月遊びの体験もできます。	共催	ねいの里
1月22日(日) 9:30~12:00	ねいの里生き物調査「足跡と冬芽の観察」 (定員:20人)	ねいの里 (ジュニア支援)	ねいの里
1月29日(日) 9:30~12:00 13:00~14:00	ねいの里 カンジキハイク 冬のねいの里をカンジキで散策する。 自然塾の会運営委員会	自然塾の会	土井、坂田 松崎
2月11日(土) 9:30~12:00 13:00~15:00	冬の生き物観察と動物の体を調べる (ジビエ試食あり:30食) カンジキハイキングによる動物の足跡観察と、イノシシやシカの体の構造を学ぶ。 手羽先骨格標本作り (定員:10組) 希望者のカンジキハイク	共催	ねいの里
3月19日(日) 9:30~12:00 13:00~14:00	ねいの里の春見つけ 園内を散策し、早春の息吹を感じる花やカエルの卵などを観察する。 自然塾の会総会	ねいの里 自然塾の会	ねいの里 松崎



豆知識

スプリングエフェメラル「春の妖精」



早春に可憐な花を咲かせる植物の中で、スプリングエフェメラルと呼ばれる一群があります。(直訳は「春のは^{はかな}儂いもの」「春の短い命」ですが、一般に「春の妖精」と呼んでいる。)早春にいち早く咲きだして、他の植物が茂ってくる頃には地上部が枯れ、姿が見えなくなってしまう一群の多年草です。身近なものにはカタクリ、ニリンソウ、キクザキイチゲ、エンゴサクの仲間などがあります。

ところで、同じ時期に咲くショウジョウバカマや雪割草(ミスミソウ)などは含まれません。これらは花が終わった後も葉っぱが一年中地上に残るので、スプリングエフェメラルの定義に当てはまらないのです。

春を告げるように可憐な花を付け、いつの間にか消えていく。まさに「春の^{はかな}儂いもの」妖精のような花たちなのです。



ねいの里行事案内

(ねいの里ホームページで活動紹介しています。)

- 4月23日(土)「春の森でチャレンジ」
9:30 ~ 13:00 集合場所:ねいの里
- 5月1日(日)「新緑の里山ハイキング」自然塾の会行事
9:00 ~ 12:00 集合場所:ねいの里
- 5月15日(日)「愛鳥週間バードウォッチング」
8:00 ~ 12:00 集合場所:古洞の森野鳥の園(古洞ダム駐車場)
- 5月22日(日)「ねいの里生き物調査(春の花の観察)」ジュニアナチュラリスト支援行事
9:30 ~ 12:00 集合場所:ねいの里
- 6月18日(土), 25日(土)「竹細工づくりとヘイケボタル観賞」
17:00 ~ 20:30 集合場所:ねいの里

〈行事へ参加希望の方は、ねいの里までお申し込み下さい。〉

企画展

- 3月12日 ~ 4月18日 県内のサンショウウオ展
- 4月1日 ~ 5月23日 愛鳥写真展(日本鳥類保護連盟富山県支部)
- 5月25日 ~ 6月27日 愛鳥ポスター展

お願い

- 「ふくろう通信作成への協力をお願い」
日頃思っていること、人に話したいことを「ふくろう通信」に載せてみませんか。皆さんからの投稿をお待ちしています。
- 会員の駐車場利用について
会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、ナチュラリスト駐車場を利用来ます。

(ヒメカンアオイの花)



発行 富山県自然博物館ねいの里 館長 富永 宣宏
〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1
Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp
ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>